



創政クラブ
藤江久子議員

市長は市民生活重視の政策に転換すべきでは

問選挙において、市長は違法行為や市民の参政権を侵すような行為をしたのではないか。
 答言われるようなことはしていない。
 問「高山生まれの高山育ち」と連呼したのは、相手候補と移住者に対する差別発言ではないか、説明を。
 答高山で長く生きてきたということを言ったままで、差別ではない。
 問不信任票が2万票近く入った。その多くは市長が反省し足元を見つめた政策に転換してほしいと思っている。
 どう受け止めたのか。
 答相手候補の公約を実行できるかどうか検証している。
 問医療・福祉・教育が弱いとされたが、市長は「弱いのではなく市

民に知らせる事ができなかっただけ、他に負けない政策がある」としているがどういった政策か。もっと真摯に受容すべきでないか。
 海外出張については、選挙中も多くの批判を聞いた。今後は、しっかり市民の理解を得るべきではないか。
 答ホームページ等でお知らせする。
まとめ
 2期務めた現役市長としては、もっと格調高い選挙をしてほしかった。医療や福祉について現場の人間が危機感を持ち、その証拠に青年医師が立候補した。もっと市民の医療・福祉・教育の将来に対する不安や困りごとに真摯に向き合うべきである。



高山市議会公明党
山腰恵一議員

豪雨災害を教訓に、防災対策の強化を

7月豪雨災害を踏まえた防災について

問障がいや高齢などで支援が無いと避難できない要支援者の避難はどう想定しているのか。
 答事前に避難行動要支援者台帳に登録していただき、災害時には地域住民を主体とした支援による避難を推進している。通常の避難所での生活が困難な場合、避難所内に福祉避難室を準備する。そこでの生活も困難な場合は福祉避難所へ移動していただく。7月の豪雨では、福祉避難室が未整備であったこと、寝たきりの方は家族との移動が困難だったこと、避難所がバリアフリーでなく生活ができないなど、いただいた様々

な意見を真摯に受け止め、避難方法について再検討する。
 問災害支援物資は、備蓄拠点から搬送するのはなく、指定避難所又はその近隣で確保できる備蓄体制をとるのが最善と考える。そのため防災倉庫（コンテナ）を活用し備蓄することができないか。
 答避難所内での備蓄が望ましいと考えているが、保管場所の確保が難しい場合もあることからコンテナの活用など導入を検討する。
 問地域の防災力向上のため、地区防災計画策定を進めることが重要と考えるが。
 答実行性の高い地域防災体制に取り組んでいただけるよう計画策定に向け検討を進める。



高山市議会公明党
中箴博之議員

高山のものづくり認証制度の可能性

学校給食の適切な実施

問全国的に食材価格の高騰で、給食休止や給食費値上げを検討する自治体が増えているが、高山市の状況は。
 答大幅な食材価格高騰への対応は困難なため、現在、給食費に対する公費負担の拡充を検討している。
 問老朽化した給食センターの危機管理体制は整っているのか。
 答不測の事態には災害用の非常食の提供や、給食用の備蓄も検討する必要がある。
公衆トイレについて
 問公衆トイレ快適度診断をどう活かすか。
 答中心市街地の55か所の公衆トイレを対象に総合評価し、診断結果

は各施設管理者に提供し改善を促す。
 問公衆トイレは充足していると言えるか。
 答中心市街地におけるトイレ整備の基本となる計画策定に着手しており、その中で質と量の方針を定めたい。

メイド・バイ飛騨高山認証制度

問認証・登録の制度が数多くある中で独自性は発揮できるのか。
 答単品ではなく同一基準で生産された商品や製品の集合体を認証するのが特徴で、飛騨の匠に結びついたものづくりのまちをPRする。
 問認証基準をどこまで厳格に審査するか。
 答厳選が大前提で、世界に認められる覚悟を持って取り組みたい。